



おおい町

議会だより



詩吟でストレス解消

(12面に関連記事)



笑みをうかべてフラダンス

INDEX

- こんなことが決まりました 2
- 一般質問（9月定例会） 5
- 研修視察報告 10
- あれからどうなったの？ 11
- 楽しむ人 12

No.15

平成21年10月27日発行



9月
定例会

こんなことが決まりました

9月定例会（11日～25日）では、平成20年度決算の認定や一般会計補正予算、国民健康保険条例の改正など14議案を原案どおり可決しました。

また、人権擁護委員に角野元保さんと宮本恵子さんを選任する諮問に対して適正であると答申し、「地方財政の充実・強化を求める意見書採択」他1件の陳情を継続審査することに決めました。

財政健全化4指標は良好な状態を維持 平成20年度決算を審議し認定

9月定例会では、「地方公共団体の健全化に関する法律」に基づき算定された4つの健全化判断比率と、公営企業会計の資金不足比率が報告されました。

算定された各指標は、いずれも早期健全化基準を大きく下回るもので、本町の財政状況が良好な状態にあることが示されました。

しかし、単に指標の算出のみに満足するのではなく、なお一層の現状把握と将来計画の策定のために有効活用することが大切となります。

財政健全化4指標一口メモ

実質赤字比率

一般会計等の実質赤字額 ÷ 標準財政規模

連結実質赤字比率

全会計の実質赤字額 ÷ 標準財政規模

実質公債費比率

一般会計等の公債費額 ÷ 標準財政規模

将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債 ÷ 標準財政規模



審査に付された平成20年度決算

また、一般会計および9特別会計歳入歳出決算は予算決算常任委員会に付託して審議し委員長からの報告の後、賛成多数で認定しました。

今後は、町税などの減収により、経常収支比率がさらに増加することが予測されています。また、現在の経済状況や政権交代による政策の流動性が予想されるため、収入を維持することや新規財政収入を開拓することは、差し迫った重要な課題となっています。

中長期財政計画の精度を高め、引き続き効率的な財政運営に努力することが重要と思われれます。

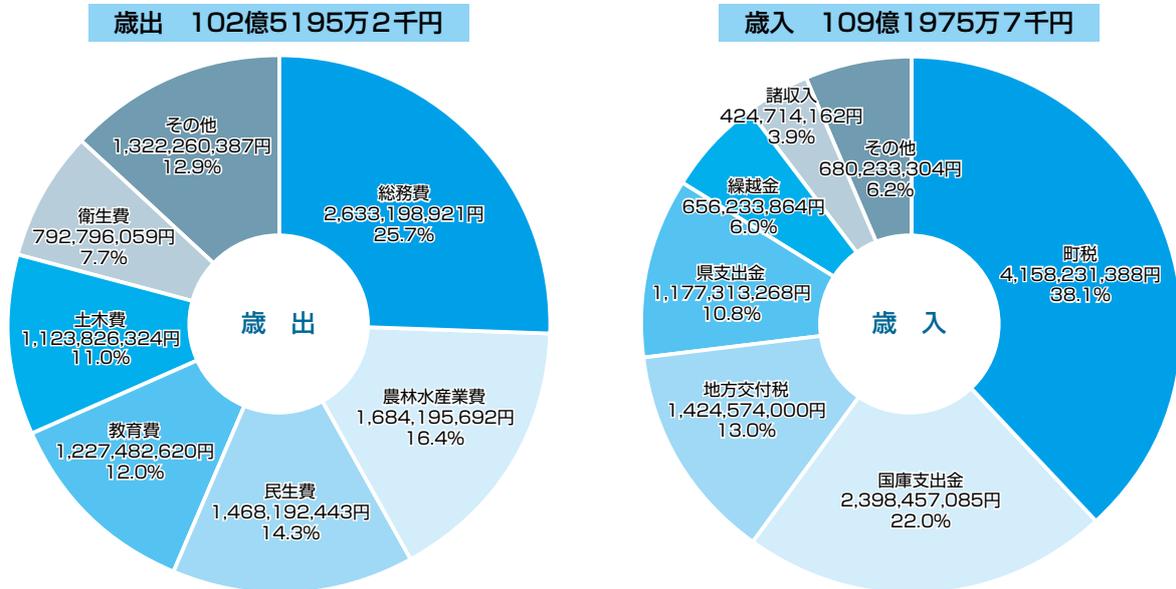
主な審議内容・指摘事項

- 各種税や料金などの収入未済は、その原因を調査して、滞納整理機構と連携をとるなどして、回収に努めること。
- 南浦理立地の有効利用を検討すること。
- 全国瞬時警報システムの誤作動を防止するため、保守点検に努めるとともに、システム改善をすべき。
- 社会福祉協議会などの各種団体への補助金は、その効果や事業実績が報告されるべき。
- なごみ診療所の運営で、地域医療振興協会への支援委託金の適正化を精査すべき。
- コミュニティバスの運行は、利便性向上と費用対効果を精査すべき。
- こども家族館の管理運営費用は、設置者である県にも負担を求めらるべき。
- 成海棧橋を発着点とする観光船事業は、そとも観光ルートを加える必要がある。
- 藻場造成事業は、漁獲高との関係を検証しながら進めるべき。

景気の悪化などにより町税が減収

法人町民税が1億1204万7千円（△35.9%）の減

◆ 一般会計



◆ 特別会計

(単位：円)

区 分	歳 入			歳 出			歳入歳出 差引額
	総 額	他会計繰入金	純 計 額	総 額	他会計繰出金	純 計 額	
老人医療	88,506,153	0	88,506,153	85,561,512	0	85,561,512	2,944,641
後期高齢者 医療	89,747,550	28,073,150	61,674,400	89,078,150	0	89,078,150	△27,403,750
国民健康保険	757,977,577	64,938,691	693,038,886	757,977,577	12,618,435	745,359,142	△52,320,256
国民健康保険 診	166,406,351	12,618,435	153,787,916	152,029,193	0	152,029,193	1,758,723
介護保険	643,990,813	128,629,611	515,361,202	624,311,222	0	624,311,222	△108,950,020
介護サービス	11,343,069	9,586,069	1,757,000	11,343,069	0	11,343,069	△9,586,069
簡易水道	511,743,249	215,634,954	296,108,295	511,743,249	0	511,743,249	△215,634,954
農業集落排水	481,784,728	385,523,877	96,260,851	481,784,728	0	481,784,728	△385,523,877
特定環境保全 公共下水道	160,149,872	133,046,856	27,103,016	160,149,872	0	160,149,872	△133,046,856
合 計	2,911,649,362	978,051,643	1,933,597,719	2,873,978,572	12,618,435	2,861,360,137	△927,762,418

おぼえておきたい
この「数字」

◎平成20年度末 地方債(借金)残高 84億9227万6千円
基金(貯金)残高 151億8428万7千円

健全化判断比率

(単位：%)

項 目	本町の比率 (前年値)	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- (-)	14.68	20.0
連結実質赤字比率	- (-)	19.68	40.0
実質公債費比率	7.9 (6.8)	25.0	35.0
将来負担比率	- (-)	350.0	-

資金不足比率

(単位：%)

会 計	資金不足比率	経営健全化基準
簡易水道事業	- (-)	20.0
農業集落排水事業	- (-)	20.0
特定環境保全 公共下水道事業	- (-)	20.0

国の経済危機対策などに対応

総額1億8393万1千円を追加補正

今回の補正予算では、国の経済危機対策により交付される「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」などを財源として、新規や追加の経済対策事業費の補正が行われています。

議案は、予算決算常任委員会に付託され、審議、報告の後、すべて原案どおり可決しました。

一般会計

1億3817万6千円

【主な歳出】

- ・ 県道坂本高浜線改良に伴うCATVケーブル敷設計費 848万9千円
- ・ 大飯地域通学路防犯灯の整備 450万円
- ・ 地震のゆれやすさマップ作成委託 453万6千円
- ・ 戸籍総合システム更新委託 650万円
- ・ いきいき長寿村湯つたり温泉天然ガス分離装置設置 930万円

・ 子育て応援特別手当の支給 935万4千円

・ 有害獣侵入防止柵設置の補助 499万2千円

・ 土地改良事業

(野尻、父子、笹合、大島) 1005万9千円

・ 治山事業(大島) 420万円

・ 道路新設改良(川上) 5690万円

・ 小中学校教材備品購入 948万9千円

老人医療事業特別会計 890万8千円

後期高齢者医療事業特別会計 74万3千円

国民健康保険事業特別会計 1315万7千円

介護保険事業特別会計 2024万7千円

簡易水道事業特別会計 270万円

林業振興拠点施設が完成

指定管理者には名田庄ウッドセンターが

名田庄三重地係で整備が進められていた林業振興拠点施設「名田庄森林センター」(総事業費1億2197万円)がこの9月30日に完成しました。

そこで、今回の議会では、施設の管理者に名田庄ウッドセンターを指定する議案が提案され、全会一致で承認されました。また、議決された主な議案は次のとおりです。

● 中山間地域総合整備事業(名田庄地区)の計画変更
事業の進捗に伴う現地精査により、事業費を減額。(全会一致可決)

● 複合型交流施設整備PF1事業変更契約
設計・建設のサービス対価が、金利変動により882万8千円減額されること。(賛成多数可決)

● 道路改良工事(久坂下三重線)を1億1235万円で契約
久坂・三重地係の町道を拡幅改良する工事で、入札の結果、八峯建設株式会社が落札。(全会一致可決)

● ごみ焼却施設解体撤去工事を5176万5千円で契約
旧名田庄清掃センターを解体撤去する工事で、入札の結果、前田建設株式会社が落札。(全会一致承認)

● デジタルX線TVシステム機器、超音波画像診断装置の購入
名田庄診療所の医療機器を最新のものに更新。(全会一致承認)



10月6日に行われた竣工式の様子

● 国民健康保険条例の改正

平成21年10月から平成23年3月までの間、出産育児一時金を35万円から39万円に改定。(全会一致可決)

一般質問

5人の議員が町政をたずねます



松井 榮治

■政権交代への対応は

新政権の動向を注視していきます

問 衆議院議員選挙の結果、民主党が過半数を超える議席を獲得し、政権交代が行われます。新政権に対してどのように対応していきますか。

答 (町長) 自公連立政権から3党の新たな連立政権が誕生しました。政権交代による町政への影響は、少なからずあると推測しています。

民主党マニフェストの政策の実行は、平成22年度を初年度としており、個別政策や予算なども不透

明となっております。

動向を注視して、情報収集を行いつながり対応していきます。

■名田庄地域整備事業における計画変更の内容は

事業採択できるものを計画にあげました

問 中山間地域総合整備事業は、名田庄地域では平成18年度から事業が始められています。

今回の議会に事業計画変更の議案が出されていますが、今後、農村地域での整備の助成は厳しいと考えられます。事業の終わる平成23年度以降の整備はどのように考えていますか。

答 (地籍整備課長) この事業では、農業生産条件が不利な中山間地域の生産基盤の整備と、生活環境の活性化を目的としています。

計画の実施に当たっては、受益者や関係地係者の意見を踏まえ、事業採択できるものに見直しをしました。

今後の農業生産基盤整備など

は、国・県の各種補助制度を効果的に活用し、受益者の皆さんに一定の負担をお願いしながら要望に応えていきたいと考えます。

■梅ときのの里づくりの今後の対策は

町全体の効率的な生産体制の確立が必要です

問 梅農家は高齢化が進み、放任梅園が多く発生していますが、今後の対策は。



面積が拡大している放任梅園

答 (副町長) 放任梅園の面積は、10 ha 余りまで拡大し、梅園全体の面積は18 ha まで減ってきています。

防止策としては、「つめ生産組合」の役員を中心に、剪定や草刈りを行う作業受託制度を設けて実施しています。

県やJA若狭などと協議しながら、技術指導や経営指導の充実を図り、新規栽培者の掘り起こしに努めていきます。

問 しいたけ栽培で大飯地域に新しく菌床センターが計画されていますが、現在の進捗状況はどうなっていますか。

答 (副町長) 新しい菌床センターは、現有施設の老朽化による更新と生産能力の向上を目指す計画で整備をするものです。

地元説明会では、騒音や景観対策などの質問や要望を受けました。

既に存在する施設の拡大であることから、環境を数値化して再度説明をし、理解を求めていきます。



田中 景子

町の人口減少への対策は

生活環境の整備をしながら
少子化対策に努めます

問 合併時から現在までの人口推移の実態は。

答 (町長) 公表されている将来推計人口によると、今後、一層の少子高齢化が進行し、本格的な人口減少社会への突入が見通されています。

町でも、こういった現実はどう向き合っていくか考え、効果のある施策を講じていくことに傾注していきます。

問 町の出生数は年平均70人余りで推移していますが、今後、さらに出生率を高めていくための対策は考えていますか。

答 (町長) 本町の子供の出生率は、ほぼ横ばいで推移し

てきています。
これまでに講じてきた施策の結果であり、一定の評価がいただけるものと考えています。

企業誘致は進んでいますか

幅広い情報発信で企業誘致
に取り組みます

問 町では、副町長をトップとしたPT（プロジェクトチーム）で企業誘致に取り組んでいます。その後の進捗は。

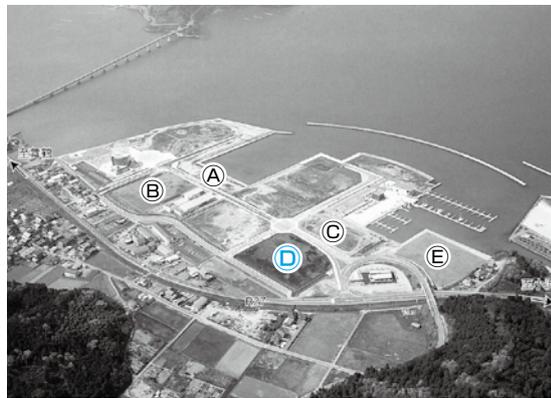
答 (副町長) 町職員で構成する企業誘致PTでは、企業誘致用地の洗い出しや企業振興条例施行規則の改正、各種優遇制度の見直し、訪問活動による積極的な情報発信などを行っています。

問 町の所有する遊休地の現状は。

答 (副町長) 近年の社会情勢の大きな変化に伴い、計画を新たな視点で、原点から見直し検討をしたいと考えています。

また一方では、地域にふさわしい整備を進め、誘致用地の一角に大型のホームセンターの誘致が決

定したという明確い出来事もあります。



企業進出が決定したD区画

問 この町の特徴として文化圏・歴史圏・商業圏・リゾート圏がありますが主眼となるのは何ですか。

答 (副町長) 交流人口の促進は、主に文化圏・歴史圏、そして商業圏やリゾート圏が役割を担います。

雇用場の創出や充実を図るため、商業圏の形成が必要であり、それぞれが元気になることで相乗効果でより活性化が図られます。

問 企業誘致は、専門部署と専任制業務でやるべきでは。

答 (町長) 県の企業誘致課が動いており、専門部署の設置などは現状では考えていません。

職員の研修を積極的に

各分野の研修に積極的に参加
するよう勧めます

問 目的によって違いがあるでしょうが、先進視察を計画的に行っていますか。

答 (町長) 社会経済状況の急激な変化や分権型社会への流れ、激しさを増す財政状況などに伴うさまざまな行政課題に対処するため、各分野における研修を積極的に実施しています。

問 今、発展的に活動し、人口が増加している市や町へ限定的な視察を実施していますか。

答 (町長) 指定的な視察は、現在行っていません。

従来から実施している研修や講習会に参加することで、そこで幅広い見聞きした経験を自らが研鑽してリーダーとなつて、町行政に活かすことが重要な目的と考えています。



新谷 欣也

■名田庄バイオテックの増設、西谷への移転・新設計画はありますか

厳しい経営状況の立て直しが第一で、増設計画などは保留しています

問

名田庄バイオテックの工場増設用地として土地を整備して以来2年が経過しますが、今後の計画を示してください。

答

(町長) 計画当時は、中国産シイタケの殺虫剤残留問題により、国産シイタケの需要が伸びている市場状況でした。

しかし、その後、設備の老朽化などにより販売が振るわず、業績悪化に陥りました。

現在の経営状況も厳しいため、施設整備は健全経営になるまで保留とし、今後、その時期を慎重に検討していきます。

問

平成20年度決算では、町からの補助金により利益が出ています。また、本年度も施設改修費などに約500万円を計上しています。

会社の出資比率による費用の分担はできませんか。

答

(副町長) 施設は町と会社が所有しているものです。負担する費用は、その都度会社と協議して決めています。

問

西谷造成地の栽培棟新設計画はどうなりましたか。

答

(町長) 栽培部門の拡大と雇用の促進を目指して計画しましたが、業績悪化により会社の経営健全化を最優先とし、大きな投資は慎重に検討しなければならぬと考え、見直しをしました。

問

経営健全化に向けた町長の考えを示してください。

答

(町長) バイオテックと紀伊産業は、ほぼ同等の出資比率で権利平等の会社です。

今後は、利益配分など経営状況の透明性に努め、健全な状態にして会社運営を図ることが最優先と考えています。



シイタケの選別作業の様子

■有害鳥獣被害に革新的な対策は考えていませんか

決定的な対策はありません

問

対策の強化は切実な問題です。猟友会に依頼して、さらに捕獲頭数を増やすべきでは。

答

(副町長) 有害駆除隊員の協力で個体数の削減に努めています。

7月末の実績として、鹿は334頭、イノシシは53頭を駆除しましたが、まだまだ追いつかないのが現状です。

問

電気柵、金網柵を区単位や地域単位で広域的に設置する計画はありませんか。

答

(副町長) 現在は、農家組合を単位とした侵入防止柵で対応しています。

今後も広域的な柵は考えていません。

問

駆除した個体の処分をする施設の計画は進んでいますか。

また町独自の計画はありますか。

答

(副町長) 県が主体となつて、嶺南2市4町の行政組合で進めています。具体的に候補地も挙がってきました。

問

町独自の計画はありません。駆除した個体の処分で、穴を掘って埋める作業が重労働です。その対策として重機の貸与してもらえませんか。

答

(副町長) 重機の借り上げは、今後検討します。



小野 泰孝

■学校における新型コロナウイルスエンザの現状と対策は

手洗いやうがいなどの指導徹底で感染者なし

問 町内の学校における新型コロナウイルスエンザの感染状況と予防対策は。

答 (町長) 町では、「新型コロナウイルスエンザ対策本部」を設置し、情報の収集や発信をはじめ、総合的な対策を行っています。流行にそなえて、各種対策に万全を期します。

答 (教育長) 町内の学校では、新型コロナウイルスエンザの感染者は今のところ発生していません。感染予防で一番大切な手洗いやうがいなどの指導を徹底して行っています。

また、咳や発熱症状のある児童・生徒には速やかに医師の診察を受

けさせます。

県教育委員会からは、学級閉鎖や臨時休業などのマニュアルが示されているので、適切な対応をして感染拡大を防ぎます。

問 手洗い用石けんやうがい薬、消毒液などの購入の予算措置は、行政としてどのように考えているのですか。

答 (総務課長) 補正予算を組むなどして、幼稚園・保育所・小中学校には、心配をかけるように十分な対応をしています。



消毒液による感染予防対策

■駆除された鳥獣の処分は

処分施設の早期建設に努力します

問 駆除された鳥獣の処分は差し迫っている大切な課題としながらも、山中に埋めているのが現状です。なんとか早く、加工施設や焼却施設が建設できませんか。

答 (副町長) 平成19年度に鳥獣焼却施設と、食肉への利活用施設を建設することができなかつたという協議が始まりました。しかし、いろんな困難な問題に直面し、結局、平成20年度に県主導により処分に伴うアンケート調査が行われました。現在、そのアンケート結果を踏まえた素案が作成されている段階で、まとまり次第、説明会が開かれる予定となっています。

説明会后、嶺南市町での対応が早急に考えられるものと思われま



猿橋 巧

■新型コロナウイルスエンザの対策強化を

地域調査会議で協議し、予防接種は国対応を見極めて

問 流行期に入った町の体制と対策強化を提案しますが。

答 (なごみ保健課長) 医療体制の強化は、県の行動計画に基づき「新型コロナウイルスエンザ地域調整会議」で検討しています。ワクチン接種体制は、接種優先対象者の把握を進め、国の準備などの最新の情報を収集し対応します。

問 ワクチンの公費助成や、高齢者向け肺炎球菌ワクチン予防接種を行いませんか。

答 (なごみ保健課長) 今回の予防接種は、法的位置づけがないため、公費助成は国の対応を見ながら検討します。

原子力発電の安全性のためにプルサーマル計画は中止すべき

核燃料サイクルのために必要と考えます

問

普通の原発でのプルサーマル発電は、安全性への疑問や使用済燃料処理方針も確立されていません。

このままでは、原発構内が「核のゴミ捨て場」になりませんか。

答

(町長) 大飯発電所での計画は、現在でも白紙の状態に変わりありません。

しかし、核燃料サイクルを堅持する、国策としてのプルサーマル計画の必要性は、十分理解していません。

問

電気事業連合会の5年先送りや経済産業省の核燃料サイクル交付金ストップなど、その必要性や方針が大きく変化している中で、大飯原発での計画は中止させるべきでは。

答

(町長) 交付金制度は、平成18年度に創設され、受け入れ同意した道県に交付される「トツ

プランナー方式」の制度です。

私は、この制度に納得しておらず、国や県に対して制度存続を要請しています。

今後、大飯発電所の計画時には、全国で先行導入されるプランナーの安全性や、諸条件を踏まえた上で判断すべきと考えます。

各種イベント行事の見直し方針は

政策ヒアリングで精査して対応します

問

集客イベントのマンネリ化や費用対効果の検証、さらにスーパー大火勢の会場移転、名田庄地域と合同開催の町民体育祭などは、町民の十分な理解が得られていますか。

答

(副町長) 町が関係するイベントは年間28件で、参加総数は約10万2千人です。

指摘の点は、実施する主催者において毎年内容や方法が検討されています。

費用対効果は、数値での表現は困難ですが、経済波及や人材育成などのマンパワー的な効果と合わ

せて、町の観光振興に大きく寄与していると考えています。



名田庄地域からの参加もあった町民体育大会

問

教育関係として、給食・青少年健全育成・図書館などの新規事業をアプローチしては。

答

(教育長) 「食育ボランティア学校連携事業」を給食センターで行い、名田庄学校給食では、「学校給食畑」を検討します。

青少年対策は、「青少年育成おおい町民会議活動事業」が活動を推進し、「放課後子ども教育推進事業」の取り組みも充実させます。

図書館活動では、幼児対象の「ブックスタート」や「出前講座」などの各種の活動を進めます。

また、図書の検索や予約可能な総合新システム構築の検討を進めているところでは。

人事院の給与勧告には断固反対です

国家公務員の給与制度に準じる必要から仕方がない

問

地方公務員の給与と一時金へのマイナス勧告は、職員の生活を脅かし、民間企業の賃金低下と景気回復に逆行するのでは。

答

(総務課長) 人事院は、棒ナスを年間で0・35月分引き下げる勧告をし、これにより職員の年間給与は平均15万4千円の引き下げとなります。

職員の生活給の引き下げは、法の規定と国家公務員の給与制度に準じる必要があるため、今回の人事院勧告は仕方ないものと受け止めます。

問

本町の行政改革プランによる職員定数削減方式は、町民サービス低下と職員の意欲を削ぐものではないですか。

答

(町長) 行政事務事業量の増加や団塊の世代の職員の大量退職も続くことから、社会情勢等の変化に沿った見直し作業を進めます。

議員全員研修視察報告

研修日時 平成21年8月
18日～20日
研修場所 北海道白老町
北海道伊達市
参加者 議員全員14人

企業誘致の推進（白老町）

この町が積極的に企業誘致に取り組んでいる背景には、町財政が大きな累積赤字を抱えていることがあります。

- ① 町長自らのトップセールス
- ② 庁内に誘致グループを設置
- ③ 東京事務所の開設
- ④ 企業のリストアップ、業種を決め効率的に活動
- ⑤ 誘致企業に優遇措置

行政と議会が一丸となって動いている熱意が伝わってきました。本町も企業誘致に力をいれていますが、財政的に恵まれている現状から、緊迫感がまだ不足しています。

議会の活性化（白老町議会）

白老町議会の大きな特徴は「通年議会」です。年4回の定例会をやめ、年間を通じていつでも会議が開けるようになっています。

これには賛否両論がありますが、この研修で得たことを参考に本町議会でも議論をしていきます。

伊達ウエルシールド構想（伊達市）

この構想は他の自治体のない発想で、少子高齢化を逆手にとった高齢者ニーズに応えるまちづくりを目指し、そこから新たなビジネスでまちを再生する移住健康のまちです。

発想の転換と知恵の結集のまちづくりで大いに参考になりました。今回の研修で、町の存続に危機感をもって取り組んでいる姿勢を学び、今後の活動に生かしていきます。



白老町での研修の様子

広報特別委員会研修視察報告

研修日時 平成21年8月
25日・26日
研修会場 東京都
シエーンパツハ砂防
参加者 委員6人

今回の研修には全国から492人の町村議会議員が参加して、3人の著名な先生による講義を受けました。

佐竹秀雄先生の「わかりやすい文章表現・表記」の講義では、文章作成の基本は読者にわかってもらえること。そのためには箇条書きの精神や、重要なことを先に述べ付加的なことを後で述べる予約の精神が大事であること。また読みやすい表記をするには、常用漢字1945字を使えば十分であると説明されました。

本町の議会だよりも多くの情報を正確に伝えようとして、専門的な言葉や難しい漢字を使っていた点を反省し、今後は改めねばならないと思いました。

次に、田中里沙先生の「情報時代に求められる広報」の講義では、(株)宣伝会議編集室長としての経験を交え、広報と宣伝との区別や広

報編集のポイント、広報の役目などを説明されました。

簡潔端的に伝え、キャッチフレーズを作り魅力を増大させることや、「新聞7文字、雑誌10文字の光る言葉」という説明が特に印象に残りました。

最後に、政治は広報・情報公開報告することが重要であると述べられました。魅力のある読みたい広報紙になるよう努力をします。

次に、神原弥奈子先生の講義は、これからのインターネットを活用した情報流通の内容でした。専門用語が多く、かなり難解な話でした。



多くを学んだ田中里沙先生の講義

追跡

1年前の一般質問

あれからどうなったの？

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。今回は、平成20年9月定例会と平成20年12月定例会からピックアップしました。

新型インフルエンザへの対応は

新型インフルエンザの発生が心配されていますが、予防策や発生時の対応は。

(平成20年12月定例会 中塚 寛 議員)

なごみ保健
課長 答弁

最新の情報収集に努めます

最新の情報を、町のホームページや広報を利用して周知します。また、発生時には、国・県・関係機関との連携や指導に基づいて対応します。

どうなった？

総合的な対策として

本年4月に「おい町新型インフルエンザ情報連絡会議」が、5月には「新型インフルエンザ対策本部」が設置されました。



役場に設置された対策本部



観光船事業がスタートした成海棧橋

成海棧橋の費用対効果は

2億6千万円もの多額の投資を行った「成海棧橋」は、今後どのような利用を考えているのですか。

(平成20年9月定例会 猿橋 巧 議員)

町長答弁

うみんぴあ大飯の重要な施設

観光船の発着ターミナルとして利用計画し、事業はマリンワールド(株)が運営していく予定です。今後はグランドオープンに向け具体化を進めます。

どうなった？

小浜湾周遊クルーズ始まる

計画されていた2コースの内、10月1日から当面の間、小浜湾周遊コースだけの運行が開始されました。

楽しむ

フラに魅せられて

フラダンス同好会プルメリア

最近日本でフラダンスが大きな人気になっています。ハワイ生まれのフラは観光ショーやカルチャー・スクールで、若い人から年配層にまで幅広いファンが増えています。

フラを習い始めてから10年になります。フラの魅力はハワイアン・ミュージックのリズムに合わせて、ゆったりと踊ることで身も心も気持ちよく、一見優雅なようですが絶えず体を動かすことで、シェイプアップの効果もあります。観て楽しむだけでなく、誰でも踊ることができる癒しのダンスなのです。現在の余暇の増大と共に健康志向にも合致した踊りだと思えます。

フラダンスは華やかなようですが、ハワイの歴史や伝統と深く結びついた神聖な踊りです。かつて文字を持たなかった古代のハワイの人々はフラを踊ることで神話や伝統を子孫に伝えてきました。

昨年3月から毎月2回の教室を行い、これまでに町内のイベントや施設の訪問で披露して喜ばれています。9月には県下17市町参加の県文協芸能祭で、おおい町を代表して出演しました。舞台上立つ前は体が震える緊張感がありますが、練習することで心に余裕を持てるようになると、自分の動きが確認でき、自分の美しいラインを生み出すことができます。ダンスは視覚の芸術でもあります。

一度踊る楽しさを体験してみませんか。

(代表 荒木和枝記)



吟縁・佳縁を大切に

紫洲流名田庄支部

漢詩に魅せられ吟道を学ぶ縁を得て30数年になります。平成5年に大阪から山紫水明の郷、名田庄へ転居しました。こちらでも素敵な友達に恵まれ、現在20数名の方と詩吟を楽しんでいます。

夫婦、親子の縁はまさに天寵（てんちょう）に因るものですが、風雅の縁を得て共に吟道を学び、誠の心を養うことを得たことに日々感謝をしなければと思っています。

詩吟は漢詩に独特の節をつけて訓読することです。江戸時代後期に私塾や藩校で、書生が漢詩の朗読の時に節をつけたのがルーツと聞いています。その後多くの門下生によって全国に広がり、今では数百の流派があります。

普段は出せない大きな声を張り上げ、腹式呼吸の発声法で丹田（たんでん）を鍛えると、日頃の運動不足が解消。少々のストレスも発散し、心も体もすっきりします。

毎週金・土曜日の午前中に2組に分かれて楽しく練習をしています。是非一度経験してみませんか。

(代表 穂谷妙子記)



議会の傍聴に来てみませんか

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会は12月です。傍聴について詳しくは議会事務局（77-1111 内線312）までお問い合わせください。

12月定例会の予定

会 期：12月9日から12月22日まで（14日間）
 本会議：9日（議案提案理由説明）、15日（一般質問）、22日（採決）
 委員会：9日（予算決算常任委員会）、16日（総務・産業建設常任委員会）

【編集後記】

天候不順な夏期でしたが、稲の実りも平年並みでした。秋はイベント盛りです。町民の皆様の参加で、スポーツに食欲にと盛り上がりましょう。

9月議会では、5人の議員が、一問一答の一般質問を活発に行いました。また、平成20年度の決算認定や補正予算、工事請負契約など14議案が提案されました。広報紙面にも議案の審議内容の全てを記載したいのですが、結果報告だけになりがちです。

昨年12月議会から会議規則を改正し、全員協議会を正規の議会活動にしました。町民の皆様の傍聴が、委員会審議と合わせてできることになり、部屋には傍聴席も用意してありますので、積極的な参加をお願いします。

今、議会では議会活性化に向けた話し合いも進めています。また、「議会だより」の改善にも取り組んでいます。これからも、皆様のご意見やご要望をお寄せ下さい。
 (猿橋)